



新座中だより

学校教育目標
強く 明るく 考える

〒352-0011 埼玉県新座市野火止2-4-1

TEL 048-478-3668

HP <https://j-niiza-c-niiza.edumap.jp/>

新座市立新座中学校

「1月号」

令和8年1月8日発行

「一年の計は元旦にあり」、よりよい年となりますように。

校長 金子 文春

午年(うまどし)の2026年が始まりました。「午年」は、一般的に飛躍や前進を象徴し、活力・成功・繁栄・勝負運に恵まれる年とされています。特に、2026年は十干の「丙」と十二支の「午」が組み合わさった60年に一度の「丙午(ひのえうま)」にあたり、太陽のよう
な明るさや情熱、エネルギーが満ち溢れた縁起の良い年とされています。「一年の計は元旦にあり」、何事も目標を立てて実行すべきという意味で最初が肝心です。2026年をどのような年にしますか。

昨年末、3年生167名を対象に「立志の日」を開催しました。学校運営協議会及び新座市内学識者の皆様、計11名を講師にお迎えし、集団面接形式で対話する取組を行いました。この中である講師が次のような問いを生徒たちに投げ掛けていました。

「夢を叶えるのに必要だと思うことを、3つ教えてください。」

受験期の面接練習で「将来の夢は何ですか？」の質問は、よく出てきます。そこを一步踏み込み、実現のさせ方を問い掛けています。生徒の個性が表れる良問だと感じました。立志の日に出た回答例は、**「努力する」「続ける」「紙に書いて貼る」「公言する」「頑張る」**…。3つ答えるだけでも難しいです。皆さんならどう答えますか。

私は「叶」の一字に注目しました。口へんに「+ (プラス)」と書きます。プラスの言葉を自分に言い聞かせるように口にしていけば、自然と夢に近付いていくのではないのでしょうか。逆に、マイナスの言葉を口にしていけば、「叶」に「- (マイナス)」が加わって「弱音やため息を吐く」の「吐」となり、夢から自分が遠のいてしまうのではないのでしょうか。2026年の学校生活は、今日からスタートです。明るさや情熱に満ちた言葉や考えを大切に心掛けながら、今年一年が皆さんにとってよりよいものになることを願います。

新年明けましておめでとうございます。本校では昨年度から、3か年研究「**“生徒が主役”の授業デザインの創造**」をスタートしました。大人の先回りや説明以上に、**子どもの気付きや思考や学び、主体性や活躍や成就感**に重点を置いた教育活動が展開できるよう、努力してまいります。

2026年、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

